



先生たちの夏休み

夏休みの先生たちの様子をお伝えします。児童・生徒の登校が無くとも出勤し、2学期の教材準備をする先生が多かったです。しかし、視野を広めたり、リラックスしたりすることも大切であると休むことを勧めました。実家に帰ったり、普段、時間がなくてできなかったことをしたりする先生も多かったです。大学の先生や専門家を招いての研修会も行ないました。私からも簡単な宿題も出しました。

私は、校長会研修で学んだメンタルコーチ（スピードスケートで金メダルをとった高木菜那選手や星稜高校が9回裏に9点をとって甲子園出場を決めた時のメンタルコーチ）が話したマイナスのことは潜在意識に強く残る。言葉や表情をプラスの方向で表すことで、プラス思考となり、もてる力を120%出せるという話が心に残りました。

生活をする中で様々な困難もあるかと思いますが、常にプラス思考で自分の力を最大限に発揮できる児童・生徒の育成に努めようと思いました。

2学期も児童・生徒に関わる全ての皆さんと協力しながら、プラス思考で頑張りたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。（山賀）

